



# 学校と終戦前後の想い出

東京女子経済専門学校

第十六期 家事理学科

廖 近英 (黄氏道英)

私は、丁度第二次世界大戦の真只中の昭和十九年九月に、東京女子経済専門学校家事理学科の第一回生として卒業しました。

卒業は三年でしたが、半年短縮され二年半と切り詰まった時代でありました。学校には附属高等学校があり、校舎は新渡戸記念館と旧校舎がありました。校舎の横に経専寮が続いていて、私



は此処に入学から卒業するまでおりました。

旧校舎の屋上に鳩小屋の様な三角形の塔があり、何時からかあれは「S塔」だと云われ、私達は誰も卒業するまで上がった者はいませんでした。

「S」とは、同性間の恋愛ごっここの事でそういう風潮が私達の乙女時代にありました。これが戦時の乙女達の唯一の楽しみのようなものでした。私も経済科のお姉様を一人思い慕ってお互いに、卒業して五十年近くになりますが、今でもお便りを続けております。達達につき合いは清いものです。達達のお手紙を戴いた時はうっとりしたものでした。これも戦時中、親元へ帰られず、ずっと淋しく一人で寮生活をしていたせいなのでしょう。

しょうか。

皆さんがそれぞれご両親の元へ帰省、私は輸送船沈没のニュースが次々伝えられ、家には帰れずいたので。冬等は炭火の無いだけ広い部屋で毎年一人淋しいお正月を迎えておりました。

でも私は、個人で同じ部屋だった家庭科の田島美代子さんが卒業して故郷の大牟田へ帰る前、二人して京都、奈良へ泊まりがけで旅行しました。また同級の秋葉さんと二人で蔵王山のゲレンデへ旅行をし一週間の滞在、私は初めてのスキーで珍しく、毎日スキーの練習で転んではかりおりました。それはもう二度と味わえない思い出になっております。

寮では夕食後、三三五五して新渡戸記念館の屋上に上り、辺りの景色を眺めたり、写真を撮ったり、歌を歌ったりして、たけなわな戦時中でも乙女時代を私達はそれなりに謳歌していた、とてもいってよろしいのでしょうか。

また校庭で珍しく積もった雪を同級の吉田さんと遊んでいた時、丁度外出帰りの森本厚吉校長先生と一緒に、写真を撮らせて頂いた深い思い出もあります。

学校では練馬農場があり、夏休みには級別で芋を掘り、むし立てのジャガ芋を皆してフーフー吹きながら頂いた、あの時の美味しかった味と雰囲気は一生忘れられませんが。

(次頁につづく)

## 終戦の翌年の通知

終戦の翌年に高等女学校で次のような「通知」が配布されました。当時の母校の状況の一端が偲ばれます。なお、原文にはないルビを付け、句読点を増やしました。

拜啓 悲惨極まる敗戦でありましたが、其の尊い教訓の数々を生かさねばならぬ新しい昭和二十一年が参りました。お芽出度うございます。幸いに当校に於ては何等の戦災をも蒙らず新時代に於て自由に発展し得る機会の与へられたこと感謝に堪えません。

御承知の通り、米英等では私立校を官公立以上に重視するのが普通ですが、我が国でもさうした精神が次第に認められ、経専教育が今後益々多忙を極めることと存じますから、将来共何かと一層の御援助を賜るやう御願ひ申し上げます。



「S塔」昭和55年7月までありました。

早速作、至急御同情願せねばならぬことは、本校教職員待遇改善に關係して授業料値上げの点であります。即ち新聞等で公表になりました通り、物価暴騰の結果として教職員的生活苦及、経営難が相当に深刻なものとなり、政府当局に於いても今回授業料値上げを認めることとなりました。

それで当校に於いては、校長會議申合わせに準じて授業料を月額拾五円に改め、父兄会費は御辞退申上ぐることにし、且つ此の改訂授業料を本月より直ちに在校生徒に適用することに致し度いのであります。

時節柄、斯く申上げて御迷惑を掛けることと心苦しいのであります。が、此の際御同意下さいまして御援助賜はらば幸甚であります。

尚、万一何かの御都合に依り当校又は文部省育英会の学費貸与制を御利用御希望の方は、御遠慮なく御相談に預り度く、又甚だ勝手でありませんが、便宜上、本月中に何等御言葉を承らない場合は、御承諾下さいましたものとして処理致すやう取計らはさせて頂きますから、左様御了承の程懇願仕る次第であります。

昭和二十一年一月七日

東京女子経済専門学校  
附属高等女学校

校長 森本厚吉

殿

これも一度きりで、その後は軍需工場への動員でした。

時には外食をしようと思っても、そう簡単に食べられない時代でした。あっちこっち歩いて食堂や喫茶店へ行ってみると、店の前に「本日休業」とか「本日売り切れ」と札がかかっていたものです。がっかりして空いていたお腹が歩いたエネルギーの消耗で、ますます空いて寮に帰りお湯をガブガブ飲んだりした思い出。

それでも学寮では、校長先生の温かいお取り計らいで配給統制でありながら、発育盛りの私達は結構皆元氣旺盛でした。そのうちに食堂は何時の間にか外食券専用で、独身者で自炊の出来ない人の為になっておりました。

卒業後、直ぐに川村女学院に勤め、兄のアパートへ引っ越ししました。兄は住宅営団に勤め、九里ヶ浜の住宅建築の現場監督で現場住み込みのため殆ど居りませんでした。残された私は足りない食料を得るため、一人でリュックサックを背負って買い出しに行き、田舎道を歩いたものでした。

往きの軽いリュックサックの衣類が、帰りは重いジャガ芋、さつま芋、お米、大豆等に換えられ、アパートに着いた時はもう日はとっぷりと暮れておりました。ほっとして、疲れ切った身体を休めていると、心は自然に、今過ぎて来た苦勞の跡を思い返すのでした。誰も

いない田舎道を一人でとぼとぼ歩いて何だか怖くなり、それに汽車の中のすし詰め、上野駅のこった返し、空襲等で再び心をしめつけられる思いでした。

また兄がアパートに帰って来る度に、「疎開しろ」と言われるので、真剣に疎開を考えるようになりました。

群馬県の高崎の奥「富岡」という所に、裁縫科で同じ部屋だった吉田利子さんのお家へ、吉田さんがちょうど卒業なさり故郷への帰りに一緒に疎開しました。この町は長閑な景色のよい所でした。

高崎から富岡へ行く途中、観音山があつてゆるやかな山の頂上に見える観音様を、汽車で通る度に心より拝んで平和を祈ったものでした。

富岡はこれまで、紡織工場と養蚕が有名で地方色豊かな所でした。私の疎開当時も、幾つかの紡織工場があつて尚動いておりました。私は東京から疎開してきた軍需工場の沖電気にも勤めたのです。

当時は鍋島侯爵が工場長であつたと憶えております。沖電気の子寮に入り、ここで終戦を迎えました。

八月十五日の玉音を聞いた時、一斉に皆頭を下げて涙を流し、あっちこちから嗚咽、むせび、すすり泣きの声が起りました。私も

涙が出てたまりませんでした。

暫くして、職場で皆さんの前で近藤課長さんが、「黄さんは、何時までも私達が保護しますから心配なく」との温かいお言葉を話しました。私は、またも涙が溢れてきて顔を上げることが出来ませんでした。

でも、私は翌年の三月に台湾へ帰りました。五年間離れて、一度も帰った事なかった故郷の両親、兄弟姉妹が懐かしかったのです。

一日も早く会いたかったです。さて、帰ると決まった時から仕事の合間に、時間を見ては毎日地方の方へのお別れの挨拶に行きました。誰方も涙を流しての尽きない話、食料不足なのに何彼と私にもてなしに出して下さる等等。思い出すだけでも胸が詰まります。

いよいよ職場を離れる日がやってきました。男の方も女の方も合わせて約十名ばかり、高崎まで荷物を持って下さり送って下さいました。駅のベルにせき立てられて、手を握り合い、もう泣けて泣けてたまりませんでした。送って下さった皆様の姿が、現在でも頭の中に焼きついて忘れられません。

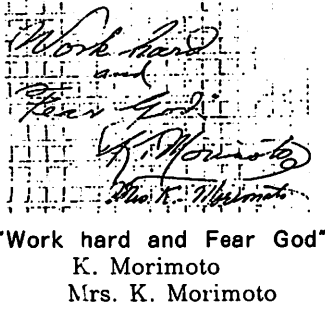
すべては、何もかも運命の様な気がします。玉音放送を聞く前は「日本人」だった私は、玉音の後には「中国人」になりました。先ず、漢字ばかりの北京語で一

苦勞し、現在はアメリカの国籍になって、オハイオに移住しております。狭い島国より広大な大陸に移り、小さなポートが大海へ漕ぎ出した思い出でした。

すっかり変わった社会環境で、先づ文字は、縦読みから横読みに変りました。こちらに参りました当時は、全く英語は通じませんでした。インターナショナルインスティテュートで英語を勉強しました。

三人の孫達に囲まれた、私の英語は、さっぱり進歩せず、逆に孫達に教えられる具合でした。それでも三年目には病院に勤め出し、五年間勤務して二年前に退職しました。此処へ来て、独立の精神を憶えました。

人間は暇過ぎてはいけません。何か目標を持って進み、努力すれば道は自ら開けて来るのです。私は今でも、私に出来る仕事はないかしらと考えています。もう一度、第二の人生として頑張ってみたいと思います。



世は昭和より平成へと移り変わり幾多の同窓生を迎えた我が同窓会も大きく成長いたしました。

そんな折、昭和二十三年三月専門部卒の藤さんの原稿が届きました。そこでこの原稿を軸に代を異に学んだ同窓生の感想、当時の思い出等を書いて頂きました。

### 経専中学で

高28卒 小川俊子 (旧姓 菅原)

昭和十九年三月、中野の桃園第一国民学校(三年生終)から、母の故郷の岩手に疎開しました。

五年生の夏、敗戦になりました。衣食住、すべてでないいづくしの時代でした。新制中学に入学したときは、机も椅子もない教室の床に座って授業を受けました。でも、生徒動員から戻ってきた若い先生たちの授業は、生き生きしていました。

二十四年三月に東京に帰ってきました。設備の整っている学校で教育を受けさせたいという父の考えで、歩いて通える東京経専中学の編入試験を受けて、中学三年に入学しました。

岩手に五年間住み「私」が「おれ」になっていた十四歳の田舎の

少女にとって、経専の生活はカルチャー・ショックでした。初めに、エンジのネクタイの制服に圧倒されました。男女共学の公立中学の子どもたちに比べると、女子ばかりの集団は、華やかでスマートでした。授業は、全教科、先に進んでいました。内心、得意と思っていた国語の時間に、小田喜先生に漢文を読まされて、立往生してしまいました。中学で漢文があるなんて：：それからの一年間は、みんなに追いつくことに必死でした。一年間過つと持前の凶々しさが出て、中一から在籍していたように生徒になりました。

高校の担任で、英語の教官、村崎先生の授業はユニークでした。映画鑑賞という時間があった。「ハムレット」を見ました。そのあとの授業で、黒板に「Obe」と書き「この間のハムレットを思い出してごらん。なにかわからないか」という質問です。「アッ」と気付いた生徒が何人かいました。「ObeornatioBe...」は、以来四十年私の頭の中に残っています。

この原稿を書くことになって、久しぶりにいろいろなことを思い出しました。東京文化学園伝統の「自由」という大きな枠の中で育てていただき、のびのびと過ごした中学、高校生活は、懐かしいという思い出でいっぱいです。

## 学園で迎えた 八月十五日

昭23高女 江藤照子  
(旧姓 岩井)

昭和二十年八月十五日、高女第二十三期生の東京残留組は終戦の放送を学園で聞きました。その少し前、私達は「千代田製菓」に動員し、クレオソート丸の強烈な匂いを身体にも洋服にもしみこませて働いておりました。

三月の空襲でこの工場が焼けましたので、他の級の動員先の「日本ラジエター」に行きました。こ



昭和23年3月  
高等女学校の卒業式のあとで

こも五月の空襲で被害を受け、その後は学校で仕事をすることになりました。暗号の解読らしいといううことでしたが、数字とアルファベットがぎっしり並んだ紙を配られ、指示に従って印をつけました。休憩の時、若い将校さんが黒板にドイツ語で「野ばら」や「菩提樹」の歌詞を書いてくれたので、私達は一時戦争のことも忘れて高らかに合唱しました。

八月十五日、私達は校長室の前の廊下に並んで玉音放送を聞きま

## 雨の明治節

昭19高女 伊藤美和子  
(旧姓 大山)

昭和十九年十一月三日は朝から大雨だった。「雨だ、助かった」私にとってそれはまさに天佑といえるものであった。

当時私達高女の三年生は、立川飛行機に動員されていた。ここに動員されていた学徒は、全部で何校か見当もつかない程の数であった。その学徒が明治節に飛行場で大分列行進を行うことになったのである。

十月末のある日、飛行場に各校代表一名ずつが打合せのため集められ、私もその一人として参加した。「各学校は五歩間隔で整列」と言われると、他校の人達は何と一人で足音高く歩調をとり五歩歩いてピシッと直立する。それを見て私はビックリしてしまった。その上「横隊で行進」「頭右」次に縦隊になり左へ：：」「そんなことを言われても」私は号令すらわからないのだ。あわてて家で兄に教わった。しかし我が校の人達はその号令で動いてくれるだろうか。私達も教練の授業はあったがほんの形ばかりのものにすぎなかった。当日が近づくとつれ、私の不安は募るばかりだった。それが天の助けの雨である。

## 戦争と私達

平3高校 新谷倫代

私達にとって、戦争というものは、映画、ドラマ、講演会等で聞いているの世界であり、どうしても現実離れしたものです。だから、どんなに貧しく、苦しい生活といってもある程度の想像しかつきませんし、その頃の人々がどういう事を考えて生活していたかもわかりません。

戦争の話の聞いたり、映画を見た後は、決して物を粗末にしたりせず、もう二度と起こしてはならないと思いがちでも、何日か後には、その様な感情も忘れてしまいます。しかし、戦争を体験してきた人達は、一生忘れられない、心の傷となっているでしょう。

ここで、寥々 近英さんは、私達と同じような年頃でありながら、戦争中で、学校や寮生活の様子などが手に取る様に書かれています。

秋になりますと友達は疎開先から次々に帰京し、授業も始まり時代は大きく動き出しました。毎年八月十五日を迎えますとあの時の厚吉先生の言葉を思い出します。日本中であの日のようにはつきりと話をするのが出来た教育者はまれであったと思われま

新渡戸先生の理想を受け継がれ、統制の厳しかった戦時中も御自分の思想を貫かれた方でした。

私はこのような学園に連なる同窓生であることを嬉しく又誇りに思っています。

今日とは違った学生生活が伺われ、物のない時代とはいえ、ほのぼのとした温かさが伺えます。激動の時代だけに、思い出も深いものになっているのではないのでしょうか。現代の若者は、平和があたりまえの中で、目標を持たずにぬくぬくと暮らしています。

しかし、寥 逅英さんは、そういう中でも、その時々々に意欲的にチャレンジ精神を持ち続けました。私達も人生の先輩として、参考にしていきたいものです。

### ある日の思い出

昭29短大 武者さちよ

終戦の年の四月半ば、家のまわりは焼夷弾の赤い炎に包まれ始めた。父は掘っぱなしの防空壕に大事な荷物を運び入れ布団をかぶせその上に周りの土と同じ高さに平になる様命じた。少しでも凹凸があると火の粉の吹き溜まりになり熱を高め、中の物は全部焼けてしまうのである。軍手が茶色に目詰まりする程土を平にした事が目に焼き付いている。羽朝橋野原になった中から僅かの荷物が助かっていた。平にと言うことが、いかに大事かと言うことを教えてくれた。

この助かった荷物を田舎から応援に来てくれた叔父のリヤカーにのせて、家族五人で東京を脱出することになり、大宮で夜明けを迎

えるまでは休まず真暗闇の中を歩き通した。同じ様な状況の人が列をなし、励ましの言葉を交わし、とても暗闇を歩いている感じはなかったけれど、大八車の下で布団を敷いて寝ていた人の事が何故か忘れられない。

やっと空襲の心配のないところまで来た母は近くの竹藪から笹を手折り水洗して、さっと水気を切り、板切れの上に置き、御飯や味噌汁、漬物等を並べて食卓をつくってくれた。久々に敵機の来ない上に、一枚の笹の食卓で苦しいはずのこの時の食卓が、心豊かな最善の楽しいものとなり今も忘れられない。

戦火を受けた二、三日の間に見た両親の教えに今も感謝し、豊かになった今、本当に子供達に教えるものは何かと思う。凹凸をなくし、どんな時にも心豊かに過ごしたいと思っている。

### 学校と終戦前後の思い出によせて

昭49短大 大島恵子  
(旧姓 平山)

大先輩のお書きになられた「学校と終戦前後の思い出」を拝見し、きびしい時代の中ですごされた貴重な学生生活の様子や当時の学校のことなどをうかがい知ることができました。母は戦前専門学校時代、森本静子先生の教育をうけ、

私は戦後森本武也先生の教育を受けました。この思い出の記にふれ、母校の六十余年におよぶ女子教育の歴史と伝統の重みが伝わってまいりました。

当時は校舎も少なかったようですが、多くの卒業生を送り出したきた新渡戸記念館は今もその風格を保ち、たくさんの校舎が立ちならぶ現在でも東京文化の象徴ともいえる建物ではないでしょうか。

以前は学校と寮も近く、また農場などでの実践的な勉強もあったそう、少人数制のきめこまやかな教育が当時からすすめられていたことがわかりました。

家事理学科という名が示すように、森本厚吉先生の進歩的な教育は60年後の今でも、科学的な視点にたって生活を見直すということとで現代にも通じるように思われます。

終戦後、新しく生まれ変わった日本、東京文化学園をぜひ見ていただきたいと思えます。

### 貴女の戦争体験は

昭33医技 小宮陽子

「クイズ百人に聞きました」という番組がありました。同じように、貴女の戦争体験はについて聞いてみました。

学童疎開、満州からの引き上げ、学徒動員の話を、今では笑える話でも当時は、真剣そのものだった

たと思います。まずはAさんの話から、

日本橋に住んでいたAさんは、小学校の二年生の時に、おばあさんの田舎に疎開しました。三十分の時間をかけて、小学校に通ったお話、牛舎に焼夷弾が落ち、避難させた牛が再び火の中に突進、七頭が焼け死んだ話を聞きました。

Bさんは学童疎開で、宮城県に行きました。枝豆をすりこんだ「ずんだ餅」大根おろしの「からみ餅」納豆をかけた「納豆餅」がなつかしい味といわれました。

満州から、引き上げてこられたCさんは、引き上げ船の港まで約一月、疲れて歩けない四歳の子

供を叱りながら、大変な行軍をしたそうです。

Dさんは、台湾からの留學生だった息子の同級生に、田舎からのお米、野菜をわけてあげていました。八百屋に行っても野菜が、買えなかったそうです。

Eさんは、本所に住んでいて、三月の空襲の時に火の中を逃げまわったそうです。防空壕に入ろうとしても入れて貰えなかったと聞きました。

私も終戦時は小学三年でした。四十年という歳月は、記憶も風化され、物がなく不自由な生活をした、あれこれの事もなつかしく思えます。

### 当時の日記より

昭23高女 多胡愛子  
(旧姓 小川)

昭和十九年十一月二十九日(水)  
四時四十分起床

午後一時から壮行式があった。優しい校長先生(注 森本厚吉先生)の御訓示には心の中で泣かされてしまった。中佐殿からも激励のお言葉を頂き一年生から送詞を戴いた。一組の伊藤さんが答辞を読みお国の為に働かなければならない気持ちで一杯になりました。学徒の腕章も頂きました。

東京女子経済専門學校  
附屬高等女學校學徒

その時いただいた「腕章」

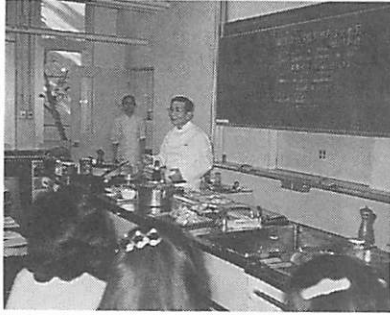
# 三年目を迎えた文化部

平成元年10月、よちよち歩きで始まった、文化部教室も、同窓会会員の皆様のご協力により、3年目を迎えることができました。

今年、英会話教室と料理教室太極拳教室(特別)が開催されました。

英会話教室では、ケネス・ワイブロー先生を囲んで、なごやかな雰囲気の中で勉強しています。

料理教室では、高輪プリンスホテルの柴田和郎先生、武者さちよ先生(短大29年卒)、インド料理のレヌ・マロラ先生をお迎えして、楽しく講習、実習し、試食に舌鼓をうっています。



柴田先生の西洋料理の指導

初めて行われた太極拳教室では、森本儋子先生を囲んで、汗を流していました。

英会話教室 11月6日より毎週  
金曜日開催  
料理教室 11月9日(土) 電子レンジを使った料理、  
12月7日(土) パーティー料理開催

興味のある方は、ぜひともお友達をお誘いして、一度なつかしい学園へいらして下さい。

問合せ先 同窓会文化部  
電話 〇三三三三八一〇一九六



森本儋子先生を囲んで  
太極拳教室

## 会員短信

昭43短大 柳沼敦子 (旧姓 今野)

十月三日に娘を連れておじゃましました。懐かしい白鳥先生、中川先生、間宮先生、小島先生、皆様お元気で大変うれしく思います。又、教務課の若い事務の方に大変お世話になりました。

昭24専門 上村洋子 (旧姓 佐藤)

母校の発展を遥か遠地で、心よりお祈り申し上げます。元氣を取り戻し、静かに過ごしております。

昭43短大谷内イチコ (旧姓 谷内)

いつも泉をお届けいただきましてありがとうございます。卒業後二十三年間、ずっと働き続けられる栄養士の仕事に感謝している毎日です。

昭38医技 前田節子 (旧姓 前田)

近藤先生の訃報を知り驚き、心より御冥福をお祈り申し上げます。又、守屋先生は、以前お茶の水駅近くでお会いしたことを、思い出されます。永い間、有り難うございました。お疲れさまと心よりお祈り申し上げます。

昭55医技 渡部美恵子 (旧姓 田中)

今は育児オンリーの毎日、子供(二歳一カ月)を預ってくれるところがあれば復帰したいのですが、中々難しい状態です。

昭11高女 太田静子 (旧姓 平沢)

泉なつかしく拝見いたしました。湊先生の二年先輩ですが、今も少女時代を思い出す度に、お懐かしさで一杯です。私も七十二歳になりますが、元氣で夜の六本木などに出かけています。

昭16高女 森 叔子 (旧姓 森)

私達の修学旅行は、関西に行けず、みちのく方面でした。「泉」にその旅を、皆さんでなされた懐かしい記事を拝見して、大変懐かしく、改めて松島・仙台を思い出しました。

昭19高女 鈴木ミチル

いつも会報をお送り頂き有り難うございます。小田喜先生、春島先生の訃報を知り驚いています。

昭19高女 清水敦子 (旧姓 斎藤)

湊先生いつまでもお元氣で!! 小田喜先生、春島先生(日女大で姉の先輩でした)が亡くなられた由、懐かしく思い出しています。

岸先生は、お元氣でしょうか。二十五年位前、京都市(スッポン料理)でお目にかかりびっくりしました!!

昭28高校 清水洋子 (旧姓 渡辺)

九月八日の高校部会大変有意義に過ごさせていただきました。有難うございました。

昭32高校 秋元恵美子 (旧姓 松田)

「泉」で諸先生方の訃報に接し、心から御冥福をお祈り申し上げます。特に私共がお世話に預りました近藤宏二先生、小田喜貞三先生のお元氣なお姿が、昨日のこのように懐かしく思い出され、時の流れを感じました。

昭41高校 川端邦子 (旧姓 黒川)

杉並から九年前引越越しまして、現在東京のはずれに住んでいます。女の子二人の母で今年中学受験を考えています。親子二代になるか?

昭42高校 石山恵子

二人の娘がやっと四月から小学四年生と一年生になり、ホッとしているところです。毎年同窓会からのお便りをいただきながら、ゆっくり拝見する余裕もなく過ごしてしまいました。今後共どうぞ末永くよろしくお願いいたします。

# “VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ8章)

## 沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和6年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来に専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区和田一丁目に約3,300㎡の校地を購入する。東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本先生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二学期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設し、東グラウンドを整備し、9月から使用する。創立50周年記念事業を完遂。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学長・学務理事森本武也が退任し、名誉学園長に就任。短期大学長に理学博士佃正晃が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。



創立者  
森本厚吉先生



初代校長  
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

## 卒業生の皆さんへ

理事長 大久保安威

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数一万九千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を実践し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励ましとなっております。

また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいています。

本年は全国の支部長の皆様にご

来園いただき(隔年実施)、交流を深めたいと存じます。皆様のご支援をお願いいたします。

### 東京文化学園

### 案内請求券

(同窓会)

この請求券を切り同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。

短大・医技・ビジネス・高校  
中学校・小学校・幼稚園

# 短期大学

## 設置基準等の改正について

大学教育審議会の答申に基づき、平成三年七月に学校教育法や短期大学設置基準などの一部が改正されました。この趣旨は、従来細かく規定されていた設置基準を大綱にとどめ、各短期大学がその教育理念に基づき、それぞれ時代の変化に対応する特色ある教育研究を展開できるようにすることにあります。

### ● 授業科目区分の廃止

従来の設置基準では、授業科目は一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目の四つに細分されており、短期大学を卒業するためには、それぞれの科目の所定単位数を取得し、かつ総計六十二単位以上の単位を取得することが要件とされてきました。

今回の改正でこれら授業科目間の垣根が完全に取り払われ、単に総計六十二単位以上取得すれば良いことになりました。つまりどういう科目を学生に履修させるかは、短期大学の自主性に任せられることになり、その短期大学の特色を示すことにもなったわけです。

ただし栄養士免許や教員免許を取得する場合には、それぞれの免許法で免許に必要な授業科目が定められていますので、短期大学で

自由に決めることはできません。

### ● 単位計算方法の大綱化

従来の設置基準では、講義、演習、実験・実習、実技科目の単位計算方法が一律に決められ、必ずしも実状と合わない点が指摘されていました。今回の改正で、各短期大学である程度の範囲内で単位の計算方法を自主的に決められることとなりました。これは演習等による授業の開設を促進することを狙いとするもので、特に卒業研究については、必要な学修等を考慮して各短期大学で自主的に単位数を定められることになりました。

### ● 学位について

従来の学校教育法では短期大学卒業生に対しては称号が与えられていませんでしたが、今回の改正により短期大学卒業生に対して諸外国と同様に「準学士」の称号が与えられることになりました。この改正は過去の卒業生にもさかのぼって適用されることになっておりますので、これまでの短期大学卒業生も「準学士」の称号が与えられます。

### ● 科目等履修生について

今回の改正では生涯学習の振興という点が重視されており、社会

人等に対しパートタイムによる学習機会を拡充し、その学習成果に適切な評価を与えることを目的に「科目等履修生」という制度が新しく設けられています。この制度は、内容的には従来の聴講生と変わりはなく、その制度が引き継がれることになり、聴講した科目に対して単位が与えられます。

### ● 本学での今後の取り組み

これらの改正にともない、短期大学がその教育研究の改善をはかるため、教育研究活動の状況について自ら点検・評価を行うように努力することが求められています。本学では、各授業の内容を公表し、各授業間の内容の重複排除、連携強化を図るべく準備を始めています。一方、新基準に合わせてカリキュラムの改定も行わずにはなりません。また栄養士法施行規則など関連する法律が改正されていけませんので、これらの推移を見ながら着手して行きたいと考えております。

## 就職状況

平成三年三月卒業生の就職は順調に推移しました。その主な就職先は次の通りです。

### 主な就職先

東京厚生年金病院、立川中央病院、国立熱海病院、メフォス、佼成病院、NECライベックス、ティス

トライフ、同和鉱業、積水ハウス、清水建設、熊谷組、日本電建、日鉄電設、明治乳業、森永乳業、ロッテ、キューピー、ハウス食品工業、明星食品、日本製粉、片倉工業、日立製作所、昭和電工、日本鋼管、日本電気、三洋電機、日産自動車、三菱自動車工業、三井東洋化学、オリンス光学工業、井関開発工業、凸版印刷、伊藤ハム、丸紅食料、味の素サーベツ、国分、ヤナセ、東京トヨベツ、日産自動車販売、三菱商事、住友石油、三越伊勢丹、丸井、第一勧業銀行、三菱銀行、富士銀行、住友銀行、三和銀行、協和埼玉銀行、七十七銀行、安田信託銀行、大和證券、山一證券、日興證券、野村證券、和光証券、国際証券、岡三証券、安田生命、東京海上火災、安田海上火災、日本信販、富士通ビジネスシステム、全日本空輸、ホテルグランドパレス、プリンスホテル、東京電力、衆議院事務局、国民金融公庫

ほか



就職相談

### 学生募集要項 家政学科

- 食物栄養コース (栄養士免許取得)
- 教養・教職コース (中学2種家庭・保健科教員免許取得)

お問合せ

短大教務課 03-3381-0197

出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目及び必要書類
推薦入学	11月6日(木)～ 11月22日(金) 必着	11月26日(火)	11月28日(木) 郵送	面接・作文・基礎学力テスト 入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書
試験入学	2月17日(月)～ 2月27日(木) 必着	3月2日(月) 午前8時40分集合 午前9時 試験開始	3月3日(火)	●食物栄養コース 国語(国語Ⅰ・Ⅱ) 英語(英語Ⅰ・Ⅱ) 理科(生物・化学より選択) 面接 ●教養・教職コース 国語(国語Ⅰ・Ⅱ) 英語(英語Ⅰ・Ⅱ) 理科(生物・化学) または社会(日本史)より選択、面接 入学願書・調査書・健康診断書

# 医学技術専門学校 近況

今年も新入生を迎え、毎日の授業、病院実習、浅間高原寮での研修などが、すべて順調に推移しております。

平成二年三月の国家試験には全員が合格し、国家試験不合格者はゼロとなり国公立検査技師教育機関78校中で第一位となりました(全国平均合格率62%)

平成三年三月には54名中52名が合格と(本校の合格率は96%、全国平均は57%)、抜群の成績をおさめることができ、さらに、本校の日頃の充実した教育が認められ臨床検査関係者と医学会から最優秀校という評価をいただきました。

本学園のために誠に名誉なことと思えます。

次に、最近の医技の教育全般では、教育の質を向上させるためには教育に情熱のある臨床検査技師であり四年制大学、特に理科系学部を卒業している人材を求めるといふ校長の方針に従い、人格、識見共に優れた教員を迎えました。

また、専任教員は、研究日にな学などの研究機関において専門領域の研究に従事し、学位を目指し努力しています。

同時に専任教員は病院検査部で臨床検査学の研修を行い、進歩の著しい検査部の現状を学生の教育にリアルタイムにフィードバックさせております。

教育水準をさらに向上させるために、臨床検査技師教育の経験豊かな有能な医師と臨床検査技師を非常勤講師に迎えるよう、常時努力しております。

学生の教育強化のために個人指導制(チューター制)を導入し、非常によい効果を得ています。

また海外の臨床検査技師教育の視察と情報の入手につとめ、優れた内容を医技の教育に取り入れております。

学生との懇談会も発足させ、学生の要望を聞き、教育に反映させるようにしております。

その他、教育の改善のために多くの試行を実施しております。

今後とも教員一同、学生教育を更に充実させ、医技を発展させるように努力いたしますので、一層のご指導、ご教示をいただきたく思っています。

(教務主任 今井 正)

## 就職状況

平成三年三月卒業生の就職先をご紹介します。今年も大学院と総合病院に就職した卒業生が多く、全体の70%をしめました。大部分は東京近郊ですが、数名が地方に就職しました。最近では久しぶりに日本赤十字社中央血液センター、東京都赤十字血液センターに就職し、献血車に乗車、献血呼びかけや、車内での血液型検査でも活躍しています。

地方出身の学生が地元での就職を望んでいます。

求人などの情報をいただければ幸いです。



スポーツ大会で

## 平成三年三月卒業生の就職先

- 千葉大病院、東北大病院、慈恵大病院、慈恵大学第三病院、慈恵大学柏病院、昭和大学、藤が丘病院、昭和大学病院、聖マリアンナ医科大学病院、慶応大学病院、独協医科大学病院、埼玉医科大学病院、東京医科大、杏林大学病院、順天堂大学病院、帝京大学病院、東京女子医科大学病院、国立病院医療センター、国立東京第二病院、埼玉県立精神保健総合センター、虎ノ門病院、三井記念病院
- 院、東京警察病院、神原記念病院、山梨厚生病院、荻窪病院、同愛記念病院、N.T.T.関東通信病院、N.T.T.伊豆通信病院、東京厚生年金病院、東京衛生病院、東京都赤十字血液センター、日本赤十字社中央血液センター、沖中記念成人病研究所、(株)エス・オール・エル、(株)エス・オール・エル東京ラボラトリー、PL東京健康管理センター、ライフ・プランニングセンター

学生募集要項		選考方法	推薦入学	試験入学
募集人員	64人	願書受付	平成3年11月1日 ~11月19日	平成3年11月25日 ~12月16日
修業年限	3年	選考日	11月21日	12月18日
入学資格	高校卒業又は同程度の者	合格発表	11月22日	12月19日
出願書類	入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合は出身校の推薦書	試験科目	「化学理科1」 「生物又は物理理科1」面接	「化学」 「生物又は物理」面接
お問合せ	医技教務 03-3381-0121	*二次募集があります。詳細は「学校案内」を御覧ください。		

# ビジネスアカデミー

お蔭様で、この四月第五期生を迎えることができました。

高校の先生方、生徒を中心に、本校の知名度を上げるよう、一生けんめいに努力をしておりますが、現在のところ、まだ十分とは言えないのが正直なところです。その中で心強いのは、学園の卒業生関係の「口こみ」です。現在の入学生や卒業生で、同窓生のご子姪やご紹介による生徒の数がかなりの高率を占めており、しかもご満足いただいていることです。本当に同窓生の皆様のご協力・ご支援に感謝いたしております。

## ユニークな

### 卒業生の進路

来春卒業の学生の就職も、夏休み中の九月五日に一〇〇%の内定を見ました。

一期生から、この四期生までの進路で、就職以外に目立つのが、卒業後、四年制大学への進学や海外の学校への留学です。ビジネスアカデミーでの生活を通して、更に学力を深めようという意欲が出て来ることは、よい企業、仕事への就職と併せて、本校の良い教育の現れであると自負しております。

## （本校の卒業生の就職先） 第四期生（内定先）

- (株)住友銀行・東洋信託銀行(株)・(株)山善・(株)CSK・日本事務器(株)・千代田コンピュータサービス(株)・(株)リケン・カテナ(株)・(株)アルテカ・(株)ノリタケカンパニーリミテッド・(株)ホテルニューオータニ・(株)近鉄百貨店・羽工建設(株)等
- 第三期生以前
- 日産自動車(株)・小田急電鉄(株)・(株)協和銀行・山一證券(株)・(株)三越・(株)西武百貨店・(株)東急百貨店・(株)伊東屋・積和不動産(株)・鹿島建設(株)・(株)住原製作所・(株)ミキツリ・(株)ホテルグランドパレス等。



少人数制の英語授業



平成二年度 学園祭

## 卒業生の近況

### 国際興業株式会社勤務

二期生 玉田 香織

昨年の三月下旬から研修が始まり、企画部へ配属されました。私の仕事は、毎日の新聞の切り抜き、ワープロ、コンピュータ等です。土地に関する仕事にも携わっていますので、週に一度、勤務終了後「宅建」の勉強をしています。十月の国家試験に向けて、先輩方と頑張っております。

私の仕事は、ほとんど一般事務ですが、社有地の視察や出張もします。最近やらせていただいた仕事の中で、一番大きなものは、「国際興業カード」の加入申し込み用パンフレットの作成です。キャッチコピーを考えたり、表紙の写真を選んだり、楽しく、また責任の重い仕事でしたが、私の作ったパ

ンフレットが完成したときの喜びは最高でした。企画部の人たちはとても親切で楽しい方ばかりなので、会社へ行くのが楽しくて仕方ありません。

ビジネスアカデミーで学んだ中で、大変役に立っていることは、「接客マナー」とワープロです。来客や電話が多いので、新入社員の際は戸惑いましたが、だんだんと学校で学んだことを思い出し、まだ完璧ではありませんが、落ち着いて対処できるようになりました。

ワープロを打てる人が少ないので、ほとんどワープロの前に座って、書類を作成しています。まだ、入社して一年しか経っていないので、アドヴァイスというほどのものはありませんが、やはり、新聞をよく読むことをお勧めしたいと思います。また、頼まれた仕事は、嫌がらず処理して欲しいと思います。

いつも素直で、明るく。素敵な女性になって会社の華になれると良いですね。

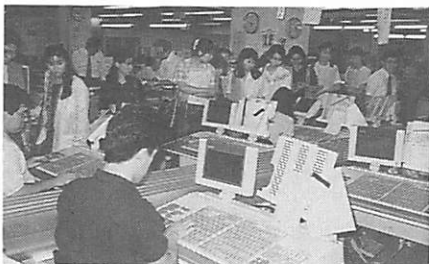
卒業の時に賞をいただきました。ブリティッシュ・カウンスル・ケンブリッジ・イングリッシュ・スクールの無料受講資格、楽しく受けさせていただいています。ありがとうございました。今後も続けて行きたいと思います。(平成二年三月卒業・東京文化高等学校出身)

## 専門学校 東京文化学園ビジネスアカデミー

### 平成4年度 生徒募集

2年制 高卒女子 英語コース (含英国短期留学)・ビジネスコース

	願書〆切	選考日	合格発表	選考内容
推薦入学	選考日の前日	①平成3.11.12 (火) ②平成3.12.18 (水) ③平成4.1.22 (水)	選考日の翌日 校内掲示	作文 面接
試験入学 (一部推薦有り)	選考日の前日	①平成4.2.20 (水) ②平成4.3.6 (金) ③平成4.3.24 (水)	同上 選考日の当日	英語 作文 面接



共同通信社見学



### 六か年一貫をさらに強化 他大学進学類型の設置

長寿化し、変容の激しい社会で、高齢に至るまで豊かに生きるには、たくましく自分で生きていく力が要請されます。また生活の変化を乗り越えるには、常に新しいことを学び充電し続けることも要しそうです。そのためにも基礎となる学習を重視します。殆ど全員が進学しますが、それでもなお中高時代に得られるライセンズ(英語・漢字・書写・ペン習字・家庭など)には出来るだけ高位の資格がもてるよう挑戦させています。

四年制大学進学志向は急速に増加。事実、進学者数も増えていることから平成四年四月より、難度の高い入試を課する大学進学に備え、五年(高二)以降を類型制のカリキュラムとし、本人の志望に学力到達度を加味して学級を編成するしくみとしました。希望するものには、難関な受験にも立ち向かう意志と実力の養成に努力します。

### 五日制の実施

「自分のために自分で学ぶ」の実践の日として土曜日は「自学自習」の日としています。つまり五日通学六日学習です。

学年ごとにテーマがあります。中一には予習・復習を習慣づけ

ることです。中二・三年は予習・復習の習慣化の継続ですが、更に私の研究というテーマが行われています。これらは土曜ノートを通して担任と家庭との連絡が行われ、成果をあげています。

高一是「母親に学ぶ」がテーマです。土曜日は一日、母親がわりをしながら、「母親」を通して学んでいくということです。

高二では教科色のある自学自習のテーマ「自主履修学習」です。各自で年間学習テーマを決め、途中、教科の先生の指導助言を受けながら実行します。

高三は進路を中心にすすめています。これら五日制の生活スタイルも落ち着き、それぞれの成果をあげています。

### 人格を養う 多彩な行事

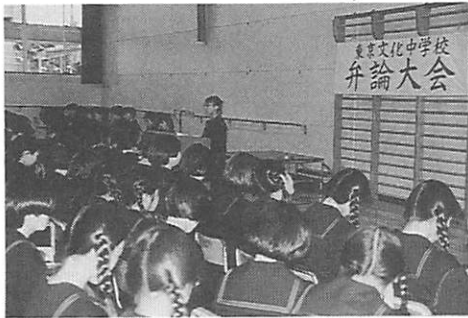
かつて「強く明るく正しく」という標語が使われたことがありますが、三日精神を体し、かつ清潔・端正・品位ある人間性豊かな女性が育つことこそ東京文化の伝統です。その人間性の育成の一環として、多彩・多様な行事を通して生徒個人の自己実現の場を用意し、体験的に習得させております。

徹してくてなお楽しい学校それが東京文化中高です。どうぞ、いつでも母校を覗きにいらして下さい。

中学校の英会話



弁論大会



### 平成四年度 生徒募集

来春の入学試験はつぎの通りです。  
① 中高とも推薦制はとり止め、  
・ 中学 国語、算数  
・ 高校 国語、数学、英語  
の試験を行います。  
② 中・高とも期日をずらせました。受験生の資質の向上を図る。併願希望者の要望、都及び協会よりの単願推薦過多の弊害除去の要請、その他の理由です。  
どうぞ、お知り合いの沢山の方々にご紹介下さり、進学説明会にお越し下さるようお勧め下さい。  
お問合せ  
03-1338-1019

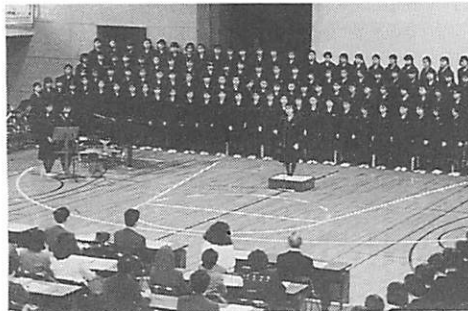
食堂給食



### 平成四年度 生徒募集

● 中学校  
募集人員 約一五〇名  
試験日 一回 2・2(日)  
一回 2・3(月)  
発表日 一回 2・2(日)  
一回 2・4(火)  
願書受付 1・20(月)〜  
● 高等学校  
募集人員 約八〇名  
試験日 2・19(水)・20(木)  
発表日 2・21(金)  
願書受付 1・27(月)〜  
☆ 学校説明会  
中学 10・11、11・15、12・5  
高校 11・17、12・14

感謝の集い



# 『蓼科高原学校』

小学校長 橋本正礼

小学校では、夏休みに入るとすぐ二つの合宿行事があります。

初めに一年生から三年生までの全員が、御代田の学園寮に宿泊する三泊四日の「浅間高原学校」、その後が、四年生から六年生までが蓼科の親湯ホテルで行う四泊五日の「蓼科高原学校」です。

「浅間」の方は、学園の高原寮ができた昭和三十九年に始まったので、今年で第二十八回、そして、「蓼科」の方はそれよりずっと前から始められ、もう第四十回になります。

最初に行ったのは小学校ができてから三年目で、まだ日本の国全体が戦後の荒廃から立ち直っていない頃です。宿泊をする旅にはお米を持って行かなければならないし、列車に乗るためには発車の三時間も前から並んでいなければならなかったそうです。

今は、たくさんのお客と立派な大広間のある親湯ホテルも、当時はまだ湯治客を中心とした割り合い小規模な旅館だったそうですが、温泉を利用した二十五メートルのプールがあるので、本校の水泳指導には大へん役に立ちました。

四十年を越える長い年月の間には、いろいろ細かい点では変わっ

た部分もありますが、主な行事は殆ど変わっていません。

現在の蓼科高原学校の大きな行事は、美しい花の咲き乱れる八子ヶ峰に行く三時間程のハイキングと、健脚組だけで行く標高二五三〇メートルの蓼科山登山、その他の子どもたちによる城の平のみそ汁作り、プールでの水泳指導などで、この他に夜の行事として、通信指導、教師企画のゲーム大会、児童のゲーム委員が企画運営をするお楽しみ会、キャンプファイアがあります。

本校の高原学校は、浅間も蓼科も全教員が参加します。そして、縦割りの学年混合グループで活動をするのが一つの特色です。蓼科の場合、男女別々に七、八名の小グループに分かれますがどのグループも六年生が班長になってまわっています。そして、上級生が下級生の世話をしたり指導をしたりする共同生活を通して自律、協力、奉仕などの精神を自然のうちに学んでいきます。また教員も、子どもたちと五日間寝食を共にしながら、文化魂ともいべき本校の伝統精神を体得させるように努力をしています。

昔と違って、今は往復ともバス

を利用するので、第一日目には途中で霧が峰の方を回り、美しい花の咲く高原を散策することになりました。

また、東京での水泳指導が充実して来たので、蓼科のプールでは班対抗の楽しい水上運動会をするようになりました。

四十年来の伝統で、この宿での生活はマナーを重視してきちんと行動をするように指導を続けて来たので、ホテルの社長さんも従業員さんも、いつもお行儀の良さをほめてくれますが、節度をきちんと保って来たからこそ、何十年の間、好意をもって歓迎を続けてくれるのだと思います。

これからも、蓼科は本校の子どもたちに、たくさんのおい出を残し続けてくれることでしょう。



蓼科の親湯ホテル前で

## 池と花壇

生活科

もう既にご存知の方も多いと思いますが、平成四年度から一年生と二年生の理科、社会がなくなり、かわりに生活科という新しい教科が設けられることになりました。

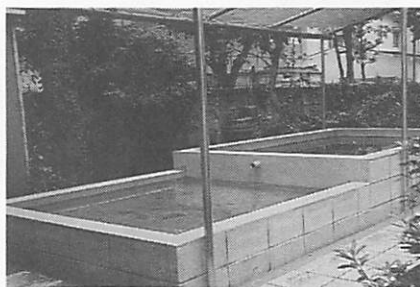
生活科は、子どもたちに抽象的な知識の教育より、もっと具体的な活動や体験を通して、身近な社会や自然との関わりに関心を持たせながら生活に必要な習慣や技能を身につけさせ、人間生活の基本を学ばせることを目的とする教科です。子どもたちに自分でどんな問題を見つけて、それについて考えさせ、活動をさせる学習が中心となります。

この学習では、自然とのふれ合いを大切にするのですが、東京では自然環境がどんどん少なくなってきたので、なかなか思うような学習ができません。

そこで、本校では、生活科のカリキュラムの中のいろいろな場面に利用できるように、この春から校舎南側の外庭に手を入れて、校舎の幅一杯ぐらゐの花壇と、六畳間位の広さの二段式の池を造りました。

もう二年程前から本校では生活科の準備を始め、皆で何回か研究会を開いて、一、二年生それぞれ

の指導内容の基本プランもできていたので、これからはこれらの新しい施設も上手にとり入れて、計画をいっそう発展充実させて行きたいとおもっています。



生活科の池

### 平成四年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名 (内部進学を含む)

入学説明会 9月10日(火) 午前9時40分

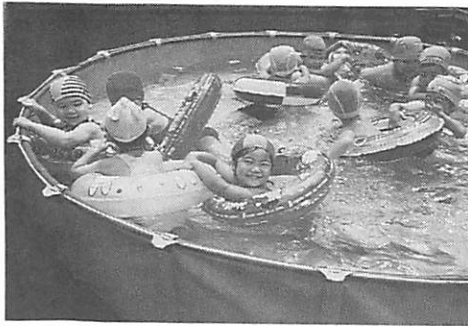
願書受付 10月21日～11月12日

入学テスト 11月14日(木)

合格発表 11月15日(金)

☆入学案内は小学校受付で配布中  
お問合せ 〇三―三三―一〇一二四

# ♪ ようちえんだより ♪



プール遊び (ことりぐみ)

ジュズダマが子どもの背丈ほどに伸び、次々と銀色の実をつけ、ヨウシュヤマゴボウの実も濃紫色に変わり園庭も秋を迎えました。三歳児の教育の大切さを痛感して再開した三年保育も十二年目を迎えました。入園当初は、まだ、どこかお乳の匂いのするような子ども達でしたが、夏休み前頃から自分の足でしっかりと歩きはじめました。嬉しい成長の様子を豆鞆先生の保育日誌からご紹介しましょう。

## 暑かった夏も過ぎ、草の中から

暑かった夏も過ぎ、草の中から虫たちの声が聞かれるようになりました。

長い夏休みを終え、幼稚園にはまた元気な子ども達の声が響いています。

いちばん小さい組のことりぐみもはじめての夏休みをすごし、ひとまわり大きくなって登園してきました。

「先生、ぼく新幹線にのっておばあちゃんのおうちに行ってきた」「わたしは海にいったの」「わたしはデイズニールランド」「先生きいてよ」どれもが夏休みの出来事を先生に話したくて目を輝かせながら一生懸命に話してくれました。

何にでも意欲をもって取り組む子どもたちはお手伝いが大好きです。夏休みにはお母様のお手伝いを積極的にしていたとの夏休み日記のとおり、幼稚園でも色水ごっこやおままごとのコーナーの準備を手伝い、長い机や椅子をひとりずつせと運んで先生をびっくりさせました。

一学期には自信なさそうに先生の指本をじっと待っていたS子ちゃんも、自分から遊びを見つけたりお友達とおはなしをしたり、積極的な姿がみられるようになりました。

お友達慣れしていなかったMちゃんも「おともだちが怖い」と言っていたのがうそのように遊ぶようになりました。

自然の恵みと共に子どもたちひとり、ひとりにも実りの時を与えてくださった神様に感謝して、毎日を生き生きと活動して、嬉しいと思います。

年長組では、今年度も六回の料理実習を予定していますが、一学期最初の実習では、年長組になったばかりの三十八名が大きな期待と反面、少しばかりの緊張感を持って、短大の中川先生にクッキー作りを教えていただきました。先生の説明を聞いた後、早速、実習になり、ボールの中のバターを溶かしたり卵を割ったり、生地を花型で抜いたり、チェリーで飾ったりという細かい工程に取り組みました。少しづつ慣れて楽しむうちに、可愛らしいクッキーが天板に並べられ、助手の先生が焼いて下さると甘いにおいが漂い、「おいしそう!」とワクワクしながら出来上がるのを待ちました。

## 年長組の料理実習

一枚ずつきれいに、お花を飾ったこのクッキーは、バックに詰メリボンをかけて、今年も大好きなお母様への「母の日プレゼント」としてさしあげました。

「先生、お母さんは、きつと喜んでくれるね、早くあげたいな」とプレゼントする目を心待ちにしていた日ちゃん。土曜日の「母の日礼拝」後、持ち帰ったところ、月曜日の朝には、ニコニコと「すごく喜んでおしいって言っていたの」と報告してくれましたが、お母様からも「可愛いクッキーをもらい嬉しい一日でした。お母さんになって良かったと感じました」と感想を頂きました。

食欲の秋を迎え、又、皆で小さい手を動かし、おいしい物を学んでいきたいと思えます。(上野)

## 子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面ににぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方および相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生にご協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから七年目を迎えました。

石井先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の所長でいらっしゃいます。お子さまの発達が順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽においで下さい。

相談日は毎週水曜日、午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には愛育研究所の山本清恵先生があたります。

予約により時間を決めますので、幼稚園(電話三三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は五千円です。

平成四年度 園児募集  
公開保育日 9月25日(休) 雨天の場合 9月27日(金)  
(9・30) (11・30)  
入園説明会 10月9日(休)  
(2・30) (3・30)

願書受付 10月31日のみ  
入園児諸検査 受付順に実施  
三歳児男女15名  
四歳児男女25名  
五歳児 若干名  
を募集します。幼稚園案内を配布中です。(無料)  
東京文化幼稚園  
お問合せ 三三八一・一一八三

### 平成三年度総会

#### 観劇会とかねて開催

六月八日(土)、東京日比谷の芸術座で、平成三年度の総会が開催されました。湊会長の挨拶のあと、平成二年度決算と三年度予算が審議のあと承認され、三年度の事業部の計画や文化部の計画の説明がありました。

総会後に開かれた観劇会は十回目にあたるので、とくに全員にお弁当を差上げることにになり、また、芸術座への支払いが前回よりも高くなったこともあって、純益は二十三万円余りとなりました。

例年のように、終演後、花束贈呈のあと、石井ふく子さんと主演の大原麗子さんご挨拶がありました。後日、大原麗子さんから湊会長宛にお礼のハガキをいただきました。(左下にあります。)

### 総会と観劇会に

#### 参加して

昭21経専 染谷敏子

今年の観劇会はいつもと異なり演目がよく、心に響くものがあり楽しい一時が持てました。

例年は、身近に起こることが演出され、それなりに共感がありますもの、心に残るものは多くな

く、久方振りの友と逢えた嬉しき、語らひの楽しさに隠れ勝ちだったように思います。

今回は、運命にもて遊ばれ身は苦界に沈み、人に卑しめられる境遇に落ちながら、心は清く、一筋の芯棒が通り、常に向上の努力を惜しまず周りの人々を盛り立て、ひたむきに生きる女の姿が力強く現われ、体内からにじみ出るような身についた素養も感じられ、好感が持てました。

これには共演者の見事な演技の後立てのあったのは否めませんが、人の真剣に生きる姿の美しさに心洗われる思いで、豊かさが胸に広がりました。私も学生時代、社会生活を通して学んだことが身につき生きかされていくかを振り返り、向上心を忘れずに、よりよい生き方への努力を続けようと思います。

総会が観劇会と同時に終わったことは良かったと思います。しかし、余りに簡単すぎ、経費面のみで事業面の報告がなかった事に、時間的制約もあったとは思いますが書類にしても報告があればと少々疑問を感じました。

昭21経専 木ノ脇ヒサ子 (旧姓 川端)

梅雨の合間の午後、年に一度の命の洗濯の日です。千代田線日比谷で下車。いつも出口が覚えなく八番か九番だと思い、迷い出て、

大きな建物の足下をグルグル倒されながら、芸術座へと急ぐ。クラスの皆さんの顔を思い描きつつ。今年も総会もあって、参加者が多く、役員の方の御準備が御苦労も多かったと思います。う。いつもながら石井先生の御好意を頼もしく有り難く心に受け止めて一人です。

「男を金にする女」出演される方達も、今年は大原麗子さんの、初舞台とあって、とても熱演で、加えて芸達者な奈良岡朋子さんや香川京子さん、小鹿みきさんとテレビで馴染の方々の本物の芸を堪能致しました。時代環境は異なっても、心に触れることではいつの世も変わりなく、恵まれていても生きる目的を失い、失意の人の心に灯をともし、良い御話でした。

私共は、昭和十八年から二十年にかけて、経専の理科に在籍しました。勤労奉仕、学徒動員と暗い戦時下の学校は、教室でヌクヌクと勉強だけをすることは許されない時代でした。ある時ショーペンハウエルの「知る(知識)ことは、愛することである」と黒板に書かれ、何度か重ねて仰言いました。その頃、付風高女の教頭先生で秋田詠りの白髪のお栗田先生の心理学的な語りの中でした。少ない授業時間でも中味は濃い教養を受けたいと、今でも忘れない位、脳裏に刻まれています。灯をともしられたと感謝しています。

昭21経専 小林照子 (旧姓 宮沢)

諸先生方、そして多数の同窓の皆様方が芸術座の楽しい開演を前にして、三十分間という短時間に非常に手際良く総会の議事を進行されましたことは、大切な総会の報告を多くの同窓の方々にお伝え出来まして、和やかな中に終了し良いアイデアと存じます。次期も是非此の形式にてお願い出来ますことを望みます。

さて、今回の「男を金にする女」は役者が夫々適役であったことが各自存分に力量を発揮出来たのではないかと、という胸のスーッとする劇でした。ストーリーは兎も角としまして、最後まで楽しく拝見致しました。難を申しますならば、幕切れが多すぎて肝心の気分乗った場面で暗転が多く、小間

切れた印象が残り惜しいと存じました。大原麗子さんのよたかに身を落とすいじらしいまでに可憐な妙技も見応えがあり、盗賊との立ち回りの凛々しさお見事でした。流石、石井ふく子様の演出と感心致しました。

奈良岡朋子さんの一つ一つの動作、言葉づかいの端々に大女優としてのキメ細やかさが私共に伝わり感動致しました。香川京子さんも適役で御立派でした。武士の妻としての自覚が常に身体全体に電流の様に流れておりましたね。イギリスに一年を暮らしたケックスピアの劇等を見ました、比較にはありませんが、日本人の繊細な神経が隅々にまで行き渡っている劇を久しぶりに楽しませて頂きました。来年の舞台も楽しみにしております。

盛夏の候 御健勝にてお過ごしのことと、お慶び申し上げます。この度、芸術座「男を金にする女」で初舞台を踏ませて頂き、石井ふく子先生はじめ共演者の皆様、貴方の皆様のおかげをもちまして、無事千秋楽を迎えることができました。毎日勉強で、学ぶことの喜びを感ずる、すばらしさを改めて知った二ヶ月でございました。これもひとえに皆様のあたたかいご支援の賜と心から感謝致しております。ほんとうにありがとうございます。今後も精進する所存でございます。求水くよろしくお願ひ申上げます。

かしこ

平成三年七月吉日

あなたにたいお心遣い  
あひまうごごいまい  
大原麗子

東京文化学園同窓会 役員

	氏名	住所	電話
名誉会長	白井 スエノ 166	杉並区堀の内1-10-6	03-3312-0428
会長	漢 く に 174	板橋区成増4-21-3	03-3930-6011
副会長	桜庭 法子 143	大田区池上3-17-4	03-3753-2735
副会長	長岡 文 227	横浜市緑区桜台25-1 桜台ビレッジ4B-202	045-982-1153
会計監査	青木 純子 176	練馬区中村3-5-16	03-3999-4212
会計監査	赤木 君江 160	新宿区若葉町2-8-7	03-3351-4666
経専部 幹事長	藤原 初江 187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997
副幹事長	小林 照子 112	文京区目白台2-2-25	03-3941-1944
高女部 幹事長	竹の谷 智子 272	市川市東菅野1-3-23-403	0473-25-2733 連絡先 ☎ 03-3806-3180
副幹事長	江藤 照子 167	杉並区上井草2-41-2	03-3390-9727
短大部 幹事長	大村 富美子 410	沼津市西船堂177-5	0559-21-7185
副幹事長	坂田 マサ子 156	世田谷区野毛1-15-27	03-3705-0551
副幹事長	岩名 永子 176	練馬区中村南3-7-3 1-201	03-3926-1073
副幹事長	中谷 容子 223	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	045-545-1148
医技部 幹事長	小栗 登子 112	文京区小石川15-11-15 小石川ビューパレス902	03-3816-6146 勤務先 ☎ 3813-3111 細菌検査室
副幹事長	大竹 順子 177	練馬区東大塚町7-37-7	03-3924-8633 " ☎ 3813-3111 血液検査室
副幹事長	北川 輝子 214	川崎市多摩区長尾6-9-6	044-888-9988 " ☎ 3454-5069 ライフプランニング検査室
高校部 幹事長	小口 幸子 166	杉並区和田3-31-15-306	03-3318-2144
副幹事長	三雲 保子 166	杉並区和田1-67-17	03-3381-1049
副幹事長	横尾 久子 166	杉並区和田1-70-16	03-3381-6030
副幹事長	佐藤 直子 184	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080
小学校 幹事長	能村 佳子 166	杉並区和田1-28-7-201	03-3384-0364
副幹事長	小島 田鶴子 166	杉並区堀の内2-31-1	03-3311-2234
特別校内理事	森本 晴生	03-3381-0196 内線 271	0484-63-0276
	中川 悦	03-3381-0196 内線 237	03-3361-6474
	黒澤 教子	03-3381-0196 内線 281	03-3391-7351
	白鳥 雅子	03-3381-0196 内線 234	0474-72-4070
	小島 圭子	03-3381-0196 内線 249	03-3384-4639
	小松 洋子	03-3381-0196 内線 224	0423-84-5661
	鷺見 英智子	03-3338-0196 内線 238	03-3981-4470
校内理事	橋本文子	03-3381-0196 内線 261	0424-62-2152
	大坂紀子	03-3381-0196 内線 231	0422-55-7180
	小島 恵子	03-3381-0196 内線 235	03-3299-4772
	上条 公栄	03-3381-0196 内線 236	03-3385-2504
	中沢 知子	03-3381-0196 内線 235	03-3920-3221
	大野 孝子	03-3381-1184	0425-46-1129
	(同窓会室)	03-3381-0196 内線 232	
総務	大池 光子 164	中野区本町6-41-1	03-3381-4715
	山 燭 道子 156	世田谷区羽根木2-1-10	03-3321-8030

収支計算及び予算

(単位：円)

収入科目	平成2年度		平成3年度	支出科目	平成2年度		平成3年度
	予算	決算	予算		予算	決算	予算
1 会費収入	3,033,000	3,033,000	3,241,000	1 通信費	200,000	182,516	200,000
	小 5,000×40人 = 200,000		小 5,000×38人 = 190,000	2 印刷費	100,000	59,067	100,000
	高 5,000×173 = 865,000		高 5,000×189 = 945,000	3 会合費	380,000	312,565	380,000
	短 6,000×255 = 1,530,000		短 6,000×285 = 1,710,000	4 事務費	30,000	37,802	130,000
	医 6,000×52 = 312,000		医 6,000×53 = 318,000	5 会報会計へ繰出	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	BA 6,000×21 = 126,000		BA 6,000×13 = 78,000	6 交際費	200,000	65,912	200,000
				7 支部費	100,000	139,264	150,000
2 受取利息	200,000	401,615	300,000	8 総会会計へ繰出	400,000	400,000	450,000
3 雑収入	0	0	0	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000
4 年会費	1,800,000	2,114,000	1,900,000	10 入会記念品費	450,000	487,850	500,000
5 前年度より繰越	419,976	419,976	521,572	11 役員交通費	250,000	246,000	250,000
収入合計	5,452,976	5,968,591	5,962,572	12 人件費	700,000	700,000	700,000
				13 名簿部へ繰出	1,000,000	1,000,000	1,000,000
平成2年度末残高	本 会 計	22,301,809		14 積立金	100,000	300,000	300,000
	事 業 部	11,646,880		15 予備費	42,976	16,043	102,572
	名 簿 部	2,613,447					
	会報発行部	366,856		小 計	5,452,976	5,447,019	5,962,572
	計	36,928,992		次年度繰越	0	521,572	0
				支出合計	5,452,976	5,968,591	5,962,572

# 東京文化化学園同窓会支部一覽表

平成3年10月1日現在

北海道札幌支部	玉木美佐	060	札幌市白石区菊水五條3-4-32	TEL 011-82-8283
帯広支部	川上幸子	080	帯広市依田町6	TEL 0155-23-2201
青森支部	木村正枝	030	青森市浜田板橋23	TEL 0177-39-5010
秋田支部	波ノブ	010	秋田市保戸野中町6-14	TEL 0188-62-2750
岩手支部	山田泰子	020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	TEL 0196-61-8453
副支部長	佐藤栄子	020	盛岡市山岸6-38-27	TEL 0196-63-0072
山形支部	星信子	990-23	山形市飯田5-23-15	TEL 0236-41-7547
副支部長	斎藤節子	999-83	山形県飽海郡遊佐町字堅田31	TEL 02347-2-2438
宮城支部	稻村きくえ	960	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	TEL 022-251-3675
新潟支部	市村サチコ	940	長岡市弓町1-3-21	TEL 0258-32-1237
副支部長	高橋嘉子	950-21	新潟市寺尾東3-11-26-21	TEL 025-269-5415
福島支部	岡部ますみ	963-02	郡山市大槻町熊野木34	TEL 0294-51-1631
副支部長	渡部記子	967	南会津郡田島町大字永田字大道上350	TEL 0241-62-1129
富山支部	布村清子	939	富山市大町一区南部43-5	TEL 0766-25-3557
副支部長	吉田のり子	939-13	砺波市東保598-2	TEL 0763-37-0170
長野支部	山崎さち子	390-63	松本市浅間温泉189	TEL 0263-46-0882
副支部長	栗光江	389-06	埴科郡坂城町南条2,304	TEL 0268-82-2273
茨城支部	山田よし	319-15	北茨城市磯原1,215-3-15	TEL 0293-42-0194
副支部長	山田節子	308	下館市下関崎下165-11	TEL 0296-2-6007
栃木支部	戸部八重	320	宇都宮市西2-2-30	TEL 0286-34-6589
副支部長	豊島玲子	323	小山市神島谷1,085-4	TEL 0285-22-1069
群馬支部	塚田幸子	371	前橋市日吉町2-6-11	TEL 0272-31-7090
副支部長	佐藤春枝	371	前橋市朝日ヶ丘1-7	TEL 0272-51-6850
副支部長	関口貴美恵	371	前橋市昭和町3-8-10	TEL 0272-32-3751
静岡支部	島田良香	430	浜松市下池川町2-11	TEL 0534-71-2569
岐阜支部	林志づ	504	各務原市那加雲雀町37	TEL 0583-82-0770
副支部長	友枝節子	500	岐阜市夕陽丘11	TEL 0582-62-8895
愛知支部	野田梅子	464	名古屋市中千種区田代町観音堂西15-3	TEL 052-711-2959
副支部長	朽木美代子	465	名古屋市中東区松井町311	TEL 052-703-7716
鳥取支部	中田正子	608	鳥取市馬場14	TEL 0857-22-3409
兵庫支部	上田文子	673	神戸市西区学園東町1-3-1	TEL 078-793-2548
岡山支部	柳田睦子	700	岡山市当新田490-298	TEL 0862-43-7931
副支部長	小橋美恵子	700	岡山市東古松5-8-29	TEL 0862-31-4870
広島支部	石橋勝子	729-64	広島市高田郡甲田町上甲立709	TEL 0888-83-8227
高知支部	森美佐子	780	高知市高須新町4-8-3	TEL 0888-23-5445
副支部長	西山勉代	780	高知市上町1-11-34	TEL 0888-23-5445
和歌山支部	堀本京子	649-35	西牟婁郡串本町串本1851	TEL 07356-2-3075
副支部長	藤野美千代	649-35	西牟婁郡串本町串本1392	TEL 07356-2-3988
愛媛支部	鎌田徳子	795	松山市高岡町781-7	TEL 0899-73-6099
副支部長	藤田喜美代	792	新居浜市船木2995-1	TEL 0897-41-6888
福岡支部	龍乙栄	832	柳川市靴屋町48	TEL 09447-2-2213
副支部長	森田幸子	824-02	福岡県京都郡犀川町大熊字一木306	TEL 09304-2-1334
大分支部	長田尚子	826-24	大分県南海部郡蒲江町大字蒲江浦3,383	TEL 09724-2-0005
副支部長	麻生イシ	876	佐伯市西谷5班	TEL 09722-2-8018
宮崎支部	中村民子	885	都城市蔵原町8-2	TEL 0986-22-3137
副支部長	手塚京子	880	宮崎市抵園町1-71	
長崎支部	久松つる江	856	大村市片町71	TEL 0957-52-3459
副支部長	村上鈴子	850	長崎市風頭町11-6	TEL 0958-23-4271
熊本支部	林田陽子	860	熊本市細工町5-2	
鹿児島支部	堀川ミヨ	890	鹿児島市天保山町13-15	TEL 0992-55-3687
副支部長	永山高子	890	鹿児島市和田町883-6	TEL 0992-61-6328
沖縄支部	阿波根由	904	沖縄市諸見里3-9-6	TEL 09893-3-0822

# 海外旅行 ベネルクス三国へ

昭和20高女 竹ノ谷智子

八月二十三日、三十人がお久しぶりという挨拶で元気に出発。静かな空の旅でフランクフルト經由ルクセンブルグに着き、ブルマンホテルにて明日から始まる観光を夢見て眠り入りました。ヨーロッパの栄光が刻まれた歴史都市、微妙な陰影の中のフランドルの風景、川と岩と森が織り成すアルデンヌの自然、城塞を取り囲んで町ができていました。

ブルージュでは、正面が階段式になっている家々に、古い芸術的価値をもった遺産のように感じま

チーズ工場、風車のある町は田園の中にあり、自転車に乗った若者が口笛を吹いて通り過ぎて行き、のどかで思わず嬉しくなっていました。

アンネ・フランクの隠れ住んだ家、その時の日記の舞台となり当時のことを偲ぼせるものがそのまま保存されておりおもしろい。第二次大戦がなければ、女性ジャーナリストになって立派な仕事をしていたでしょう。私たちと同じ年代です。胸が痛くなりました。

三か国を旅して、町々が美しく建物と調和して花々が咲き、花市場も多く、窓辺には植木鉢が飾られ、ヨーロッパ独自の風景で、建物は歴史的ロマンが秘められているようです。これも地震がないために古い物が大切に保存できると感じました。

ミニ・トレインに乗り、列車に乗り、ホームの大きく長いのに感心し、運河めぐりと、本当に細かく気を配って下さった企画の旅でした。  
常に前後して私達を守って下さいました白鳥先生、小島先生、ありがとうございました。ちょっとしたハプニングもありましたが、旅の思い出となると思います。又お逢いすることを楽しみにしております。

## 小学校部会

昭32小 新倉徹也

平成三年の東京文化小学校の同窓会総会(小学校部会)は去る五月十一日(日)小学校講堂で午後二時から午後五時半まで行われ、出席者は一期生から三十八期生の八十四名、旧教員は、小松先生、岡先生、奥田先生。現教員は、橋本校長先生、永山先生始め十一名の先生方が集まりました。

森本光生同窓会会長挨拶、平成二年度の会計報告、萩原同窓会副会長の同窓会幹事会の活動報告、平成四年の総会日程(平成四年五月九日(土)予定)のお知らせで総会は終わり、永山先生に乾杯の音頭を取って戴き、慣例の立食パーティに入りました。

暫くの歓談時間の後、今年退職された音楽の岡千枝子先生に、司会者大内君がインタビュし、先生の学園での楽しかった事や、印象に残った出来事を語っていただき、先生のピアノ伴奏で、なつかしい小学校の校歌、賛美歌を全員で合唱しました。先生の永年の功績をたたえ同窓生一同より、記念品と花束の贈呈を行いました。又、幾つかの期の卒業生からも花束が贈られました。(写真)

(「小羊通信」より)



## 短大部会

昨年聘珍楼に於いて開催されました短大部会は、多数の出席者を得て、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

部会は隔年ごとに行われますので、来年は短大部会になります。仔細決まり次第ご案内申し上げますが、皆様の予定に内申し上げていただき、大勢の参加をお待ち致しております。

ご希望、ご意見がございましたら、幹事までお聞かせ下さい。



ブルージュでの運河巡り



阿姆斯特ダムのフォールンダムとマルケン島



### 理事会と幹事会

- 平成二年度
  - 第四回理事会 12月8日
  - 学園祭の売店報告
  - 文化部の報告
  - 来年度の総会について
  - 同窓会入会式について
  - 観劇会について
  - 旅行について
  - その他
- 第五回理事会 2月28日
  - 文化部の報告
  - 同窓会入会式・卒業式について
  - 新幹事歓迎会について
  - 総会・観劇会について
  - 平成二年度仮決算・三年度予算について
- 海外旅行について
- その他
- 平成三年度
  - 第一回理事会 4月11日
  - 新幹事紹介
  - 平成二年度決算・三年度予算について
  - 総会について
  - 今年度事業部計画について
  - ① 海外旅行
  - ② 観劇会
  - ③ 学園祭の催し
  - 文化部について
  - その他
- 第一回幹事会 4月25日
- 同窓会入会式・幹事会について

- ◎ 総会・観劇会について
- ◎ 海外旅行について
- ◎ 文化部について
- ◎ その他
- ◎ 第二回理事会 5月22日
- ◎ 文化部の報告
- ◎ 観劇会について
- ◎ 総会について
- ◎ 海外旅行について
- ◎ 卒業記念品について
- ◎ 学園祭について
- ◎ その他
- ◎ 第三回理事会 7月10日
- ◎ 文化部の経過報告
- ◎ 総会・観劇会の報告
- ◎ 海外旅行の中間報告
- ◎ 卒業記念品について
- ◎ 「泉」について
- ◎ その他
- ◎ 第四回理事会 9月19日
- ◎ 文化部の報告
- ◎ 海外旅行報告
- ◎ 学園祭について
- ◎ 「泉」発送について
- ◎ 卒業記念品について
- ◎ その他

### 学園祭の売店

平成二年度の学園祭は、十一月二日と三日ともに好天に恵まれ無事終了しました。同窓会では、お弁当、サンドイッチ、蒲鉾、パン、ティスティング、ポップコーン、展示品の即売を行いました。皆様のご協力で、四十三万円余りの純

### 支部会だより

益を上げることができました。ありがとうございました。今年も十一月二日と三日に母校で学園祭が開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。同窓会にぜひお立ち寄りください。

#### 広島県・山口県・福岡県支部

7月30日、山口支部の前田玲子さんのお骨折りで、山口県下関市の「春帆楼」で広島県・山口県・福岡県の合同支部会が開かれ、佐々木・山口県支部長初め十三人が集まりました。学園から中川悦先生と白鳥雅子先生が参加されました。

#### 長崎県支部

9月6日、長崎市の「ホテルニュー長崎」で長崎県の合同支部会が開かれ、久松支部長初め四人が集まりました。学園から森本晴生先生と白鳥雅子先生が参加されました。



### 年会費をお忘れなく

卒業後十年以上経過した方々には、年会費として毎年千円の納入をお願いしております。昨年度は延べ二一一人からご協力いただきました。ありがとうございます。

年々七百人数程度の会員が増加しますので、通信連絡などの費用が上がっています。一人でも多くの方々の協力で、同窓会の運営がそれだけスムーズになります。今回は、昭和五十六年三月までに卒業された方々に年会費の振込用紙を同封いたします。お近くの郵便局からお振込みくださるようお願いいたします。

振込通知票

東京	9	188318
東京文化学園同窓会		
〒164		
東京文化学園同窓会		
電話 03-3381-0196		
発行人 湊 くに		
編集人 青木 純子		
印刷所 株式会社 神木印刷		

この振込通知票は、留紙で発行しますので、下部の欄を汚さないよう特に注意してください。また、本票を預り取りしないでおください。(振込票)

謹んでお悔やみ  
申し上げます  
(敬称略)

竹内 直子	33 医技・元講師	3・9・9
村上 正子	31 短大	2・10・29
金田 容子	31 短大	3・4・9
河野 淳子	25 高女	3・6・8
畑 徳子	23 高女	3・5・16
津田 松江	20 高女	3・7・
村松 恭子	19 高女	2・7・
五十嵐三枝	15 高女	2・8・8
中村 静江	15 高女	61・5・
遠藤 満子	16 経専・旧職員	3・3・5
種市 弥生	7 経専	2・9・26
後藤美年子	7 経専	2・6・30
中野 晴	7 経専	2・6・25
渡辺 恒彦	医技名誉顧問	3・7・29
田中 チツ	旧職員	・

発行所 東京都中野区本町  
6-38-1 〒164  
東京文化学園同窓会  
電話 03-3381-0196  
発行人 湊 くに  
編集人 青木 純子  
印刷所 株式会社 神木印刷